



第1977回 例会

2014-15年度RI会長: Gary C.K.Huang
 第2640地区ガバナー: 辻 秀和
 創立: 昭和49年5月15日
 会長: 谷中 順次郎
 幹事: 岡本 博
 会報: 北村 圭司 副委員長



VOL42

2015年5月27日(水)

事務所: 田辺市下屋敷町81-10
 きのくに信用金庫田辺支店3F
 Tel 0739-24-6427 Fax 0739-34-5008
 E-mail t-eastro@mb.aikis.or.jp
 例会: 毎週水曜日 12:30~

司会者 谷中 順次郎 会長

唱 歌

“バラが咲いた”
 吉本正美 君



ゲスト 田辺市教育研究所
 所長 向井洋一 様
 前田祐希 様

出席報告

会員数	義務免除	欠席者数	本日出席率
46名	2名	11名	75%
5月13日修正出席率 100%			

公益社団法人 白浜・田辺青年会議所
 2015年度理事長 中田大介 様
 副理事長 生田嘉寿起 様
 50周年委員会委員長 山崎匡紘 様

ニコニコ箱

(敬称略)

◇お世話になります。 田辺RC 都志見 徹様

◇田辺市教育研究所 所長 向井洋一様・前田祐希様
 をお迎えして

愛須 勝章、後藤 信博、橋本 隆、木村 壽一、
 北村 圭司、小山 實、畔田 実、丸山 勇人、
 森本 修至、中川 文恵、中嶋 伸和、那須 壽子、
 岡本 博、大久保 勝也、佐田 一三、坂本 正人、
 竹村 英一、谷中 順次郎、上原 俊宏、吉田 和枝
 早稲田 清司

◇JCの皆さん、おいで下さいまして有難うございま
 す。先日はご苦労様でした。

沖 史郎、玉置 和男、武田 静也

◇今晚は、新会員歓迎会です。6時30分より。皆さん、
 忘れずに来てください。 吉本 正美

◇先日、御坊でのテニスのシングル大会で3回勝って、
 ベスト8に残りました。まだまだ、若いもんには負け
 ませんよ!! 本田 耕二

会長報告

■本日のお客様は、田辺市教育研究所 所長 向井洋一
 様と前田祐希様をお迎えしています。後ほど宜しく
 お願い致します。

■本日はもう一組のお客様をお迎えしています。公益
 社団法人 白浜・田辺青年会議所 理事長 中田大介様、
 副理事長 生田嘉寿起様、50周年委員会委員長 山崎
 匡紘様です。宜しくお願いいたします。

■5月30日(土) 田辺湾クリーン作戦が開催されます。
 参加される皆様、ご苦労様ですがよろしくお願いいた
 します。

幹事報告

■例会日時変更

◎海南西RC 6月25日(木) → 6月27日(土) 19:00~
 場所: 「JOY味村」和歌山市片岡町1-1-29
 <2014-15年度最終例会>

◎高野山RC 5月29日(金) → 5月29日(金) 12:30~
 <100年の森林清掃作業> → <通常例会>
 6月 5日(金) → 6月 6日(土) 18:00~

◎和歌山南RC 6月19日(金) → 6月19日(金) 18:30~
 場所: ダイワロイネットホテル和歌山
 <2014-15年度最終夜間例会>
 6月26日(金) → 休会

■回覧

◎「英語版ロータリアン6月号」

◎ガバナー事務所より

「RAC (ローターアクト) 第33回地区大会のご案内」
 「ネパール地震の支援について」

◎ガバナーエレクト事務所より

「公式訪問について」

◎和歌山東RCより「例会場変更のご案内」

2015年7月2日(木)の例会より例会場を変更致します。
 (旧)ルミエール華月殿 (6月18日まで)
 (新)ダイワロイネットホテル和歌山4F (7月2日より)
 毎週木曜日 12:30~13:30 (従来通り)
 メーキャップ料 2,500円

■連絡

◎来週6月3日より上着の着用は不要です。

◎6月のロータリーレートは 1ドル=118円です。

委員会報告

◎親睦委員長 吉本正美君

今晚午後6時30分から新入会員歓迎会を行います。場所は あしべ さんです。皆様、ご出席よろしくお願ひします。



◎次期幹事 畔田 実君

本日例会終了後、非公式理事会を開催いたします。例会場で行いますので次期、理事・役員さんはお残り下さい。



公益社団法人 白浜・田辺青年会議所

50周年委員会委員長 山崎匡紘 様

先日4月26日、私供の創立50周年記念事業として、ビッグ・Uにおきまして「紀南！魅力！新発見！～50年の感謝を込めて～」を成功裏の内に開催することが出来ました。田辺東ロータリークラブ様には多大なるご協賛を頂きまして有難うございました。



2015年度理事長 中田大介 様

この度はご協賛、ご協力頂き有難うございました。たくさん子ども達に郷土愛を育てただけの記念事業になったと思っております。地域の為に頑張ってお参りしますので、これからも宜しくお願ひいたします。



副理事長 生田嘉寿起 様



本日のプログラム

田辺市教育研究所

所長 向井 洋一 様

職員 前田 祐希 様



あらためまして、皆さんこんにちは。

田辺市教育研究所所長の向井です。そして職員の前田祐希です。よろしくお願ひします。又、このような貴重な時間を作って頂き誠にありがとうございます。では、早速ですが、話に移らせて頂きます。

教育研究所は、元、教育研修センターの場所です。今は、教育研究所になっています。ちょうど文化会館の裏手で、4月には桜が満開で大変きれいな所です。

今日の内容ですが、1、はじめに 2、教育研修所の活動について 3、おわりに という内容で、主に、2、教育研修所の活動についての「ふれあい教室」の取り組みを中心に、ご説明させてもらいたと思います。

1、はじめに

教育研究所についてご説明します。田辺市教育委員会の中の学校教育課に教育研究所は所属しています。

教育研究所のメンバーは、私を含めて5名です。私は市の嘱託職員で、市の臨時職員に前田、庄堂、加原がおります。

スクールソーシャルワーカーの宮脇は、県の非常勤職員になります。宮脇は、年間360時間の勤務時間になりますので、火曜日終日と木曜日は半日の週 1日半の勤務です。主に学校からの依頼があって、先生や保護者と出会い支援します。

2、教育研究所の活動について

教育研究所の活動についてですが、大きく分けて五つになります。

- (1)教育相談・カウンセリングの取り組み
- (2)『ふれあい教室』不登校生徒への適応指導教室の取り組み
- (3)研修会の開催
- (4)ひきこもり支援ネットワークとの連携
- (5)保護者や関係機関と相談、連絡をとる です。

(1)教育相談・カウンセリング

先ず、教育相談・カウンセリングですが、来室による相談と電話による相談を行っています。

不登校や学校生活・学業、発達に不安を抱えている子どもさんの保護者や地域の皆様方、教員の方々の相談に応じ、子どもが健全な成長をとげられるように、教職経験のある職員やスクールソーシャルワーカーが教育相談にあたり、助言・支援しています。

ちなみに、昨年度は、来室による相談は 44件で、電話による相談は、 14件でした。

相談内容は、ほとんどが不登校に関する相談です。本年度は、来室による相談が 11件で、内 10件は不登校について、もう 1件は、子育てについての相談がありました。

次に、いじめホットラインですが、いじめを受けている本人、その保護者、または仲間の誰かがいじめられている等のご相談を受けています。

いじめホットラインについては、昨年度はゼロで、本年度も今のところありません。

いじめホットライン

いじめを受けている本人、その保護者、または仲間の誰かがいじめられている等のご相談は、

“一人で悩まず、まず電話” TEL 22-3224 へ
秘密は守ります。安心して気軽に電話して下さい。

(2) 『ふれあい教室』

田辺市の学校に在籍している小中学生で、色々な理由で不登校の状態にある児童生徒が利用できる教室です。学校へ行けていない子どもたちの学校復帰に向けて、学習活動や体験活動、教育相談を行っています。

学習活動や体験活動は、主に指導員やボランティアで来て下さる先生方と一緒に活動します。

『ふれあい教室』では、学習や色々な活動を自分のペースでやっていくことができます。

又、話を聞いてくれるスタッフもいます。

入室の手続きについては、保護者が学校と相談し、学校を通して申込みをうけます。

開室日は、月曜日から金曜日迄です。但し、国民の祝日は休日になります。

午前と午後の二部制で、中学3年生とその他の学年に分かれています。

偶数月は午前:小学生から中学2年生、午後:中学3年生
奇数月は午前:中学3年生、午後:小学生から中学2年生です。

学校復帰には

・学校復帰には、保護者の方の理解と支援が第一です。不登校の子どもたちが心のエネルギーを高め、学校復帰や社会的自立をしていくために、何よりもまず、保護者の方が子どもの状態を受け入れ、支えることが大事であると思います。

そこで、不登校の子どもへの支援と、その保護者の方への支援も行っています。

・また、学校復帰を目指すためには在籍校の先生方の支援が欠かせません。

『ふれあい教室』では、校長先生をはじめ、担任の先生、学校内の様々な立場の先生方と共に、子どもについての理解を深めあい、望ましい支援のあり方を探っていきたくと考えています。

②活動内容について

ア、1時間の勉強(基礎学力の確立)

まず、1時間の勉強を行います。

わからなくなったところを中心に、自分のペースで好きな教科・必要な教科を個別に勉強します。主に、個別学習で基礎・基本の繰り返し学習をしています。

イ、体験活動

(社会性を身につけさせる・豊かな心を育てる)

次に、体験活動です。

体験活動とは、遠足や調理実習等、ゲストティーチャーをお呼びして社会性を身につけさせたり、豊かな心を育てるための様々な活動を行っています。

体験活動は大きく分けて、創作活動・文化的な活動・軽スポーツ・行事活動があります。

○創作活動

創作活動では、書道・手芸・工作・料理教室・ふれあい農園などを行っています。

☆ふれあい農園

東陽中学校の正門前の畑をお借りして、とうもろこし、ジャガイモ、スイカ等を栽培しています。

☆猫の手キッチン

調理実習を行い、いつもお世話になっている学校の先生や保護者の方に食べて頂く活動です。

○文化的な活動

文化的な活動として、美術鑑賞、音楽鑑賞、図書館見学、茶道、読み聞かせ、犬セラピーなどを行っています。

☆茶道教室

☆絵本の読み聞かせ

☆創作劇

昨年度ビッグ・ユードで創作劇を発表しました。

○軽スポーツ

体力の向上を目指して取り組んでいます。

卓球、バスケットボール、ドッジボール等です。

○行事活動

行事活動として、誕生日会、遠足、ディキャンプ、卒業を祝う式等を行っています。

ディキャンプは毎年8月に行われています。

ウ、SST (ソーシャル・スキル・トレーニング=社会生活技能訓練)

SST (ソーシャル・スキル・トレーニング=社会生活技能訓練)の授業を行っています。対人コミュニケーション能力の育成で、子どもたちには、「人とうまくやるコツ」と説明しています。

昨年に引き続き、9月から月1回のペースで実施をする予定です。

(3) 研修会の開催

研修会の開催ですが、昨年には、創作劇の実施、一昨年には、不登校問題懇話会として、不登校生を抱えている方々が集い、お互いの悩みやアドバイスを交換し合う研修会を持ちました。

(4) ひきこもり支援ネットワーク

ひきこもり支援ネットワークですが、義務教育が終わった不登校生の中には、進学や就職が決まらず、関わる関係機関が切れてしまい、引きこもりになるケースが多いと聞きます。中学校を卒業してからも関われる機関があります。その関係機関につなげたり、紹介したりしている取り組みです。

(5) 保護者や関係機関と相談、連絡

保護者や関係機関と相談、連絡をするのですが、定期的に三者面談や必要に応じて保護者懇談会を実施しています。

また、SSW（スクール・ソーシャル・ワーカー）がおりを見て家庭訪問等しています。

3、おわりに

不登校の状況や背景はそれぞれ多岐にわたりますが、学校生活における諸活動（学習や学級活動・部活動、対人関係など）に適合できにくい子であったり、耐性や協調性・社会性が弱い子である場合が多いと思います。

そういったなかで、学校が楽しくなくなり、登校する精神的・肉体的なエネルギーが欠如していることです。又、いじめや親の養育の問題、教師の配慮に欠ける言動など本人以外にその原因があるケースも存在します。私たちは、これら子ども達の状況や背景を見極め、個別支援に取り組み学校に戻れる環境づくりに尽力しなければならぬと思っています。

たとえ在学中に復帰ができなくても「生きる力」や「対人関係調整能力」などを醸成し、社会の一員としての役割をこなせる要素を身につけさせなければならないと考えています。

これからも、学校と連携を深め、学校にも適応指導教室にも来れない児童生徒を、少しでも、適応指導教室に来れるように、又、適応指導教室から学校にもどれるようにしていきたいと頑張っています。本日はありがとうございました。

教育相談・カウンセリング（9：00～16：30）

不登校や学校生活、学業、発達に不安を抱えている子どもさんの保護者や地域の皆様方、教員の方々の指導（電話・来談）に応じ、子どもが健全な成長をとげられるように助言・支援していきます。

教職経験のある所長やスクールソーシャルワーカー教育・福祉の多角的な視点から教育相談にあたります。

不登校の小中学生を支援する和歌山県の田辺市教育研究所（同市中屋敷町）のふれあい教室に通う子どもによる創作劇が28日、同研究所で開かれる。コミュニケーション力の向上などが目的で、初の試み。

教育研究所は「積極性が増した」「声が大きくなった」などと子どもの成長を感じている。（紀伊民報掲載 平成27年2月21日）



『ふれあい教室』

◎児童・生徒の皆さんへ

☆『ふれあい教室』は、田辺市の学校に通っている小中学生で、色々な理由で不登校の状態にある人が利用できる場所です。

『ふれあい教室』では、学習や色々な活動を自分のペースでやっていくことができます。また、似たような状態にある仲間や、話を聞いてくれるスタッフもいます。

◎保護者の皆さんへ

☆まず、保護者の方の理解と支援が第一です。不登校の子どもたちが心のエネルギーを高め、学校復帰や社会的自立をしていくために、何よりもまず、保護者の方が子どもの状態を受け入れ、支えることが大事です。☆ふれあい教室では子どものことを一緒に考えます。

『ふれあい教室』では、不登校の子どもへの支援と、その保護者の方への支援も行っています。一人で悩まずに気軽にご相談下さい。

◎学校の先生方へ

☆子どもたちは先生方の支援が欠かせません。

『ふれあい教室』で心のエネルギーを高め、学校復帰を目指すためには、在籍校の先生方の支援が欠かせません。

☆ふれあい教室では子どものことを一緒に考えます。

『ふれあい教室』では、校長先生をはじめ、担任の先生、学校内の様々な立場の先生方と共に、子どもについての理解を深めあい、望ましい支援のあり方を探っていきたくと考えています。

◎ふれあい教室の活動内容

子どもたちの学校復帰に向けて、学習活動や体験活動、教育相談を行っています。学校活動や体験活動は、主に指導員やボランティアで来て下さる先生方と一緒に活動します。

○学習活動

わからなくなったところを中心に、自分のペースで好きな教科・必要な教科を個別に指導します。

○体験活動

遠足や調理実習、ゲストティーチャーをお呼びして様々な活動を行います。

- ・創作活動・・・書道、手芸、工作、料理教室など
- ・文化的な活動・・・美術鑑賞、音楽鑑賞、図書館見学、茶道、劇など

- ・軽スポーツ・・・卓球、バスケットボール、ドッジボールなど

- ・その他・・・観梅、散歩など

○行事・・・月初めの会、お誕生日会、卒業を祝う会など

◎開室時間

月曜日～金曜日（但し 国民の祝日は休日といたします）

午前の部 9：30～12：00

午後の部 13：00～15：30

偶数月は午前：小学生から中学2年生、午後：中学3年生

奇数月は午前：中学3年生、午後：小学生から中学2年生